

電力広域的運営推進機関
第8回 将来の電力需給シナリオに関する検討会
2025年4月18日

資料1-1

2050年に向けた日本の電力需給の見通し： 原子力の想定

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)

システム研究グループ

秋元圭吾、佐野史典、

本間隆嗣、望月則孝



原子力発電シナリオ（上限値の想定）

総発電電力量に対する原子力発電電力量の比率の上限
 （モデル分析結果としての発電電力量は、モデル分析の経済計算に依る）

	2040年	2050年
Middle	上限:20%	上限:20%
High		中位シナリオの 設備容量固定
Low		

- ✓ 2040年については、第7次エネルギー基本計画のエネルギー需給見通しに基づき、発電電力量の上限を20%と想定する。
- ✓ 2050年については、中位シナリオでは、第7次エネルギー基本計画の検討に際し、RITEが提示した「成長実現シナリオ」の想定と同じ、20%を上限と想定する。高位シナリオ、低位シナリオでは、中位シナリオの設備容量固定として想定する。
- ✓ なお、大幅な排出削減シナリオ下では、経済計算によるモデル分析結果として、この上限値に張り付くことが多い。